
土測協通信 (第185号)

平成27年度骨太の方針等3方針が6月30日に閣議決定されました。これらの閣議決定には、「土地改良事業の一層の推進」という文言がそれぞれ記述されました。

日本農業新聞7月1日付けに以下の掲載記事がありました。

「政府は6月30日、経済財政運営の指針となる「骨太方針」を閣議決定した。与党の強い意向を踏まえ、土地改良について「高付加価値化・生産コスト削減に資する農地の大区画化・汎用(はんよう)化などを一層推進する」と明記。2016年度の予算編成をにらみ、土地改良のための農業・農村整備事業の予算増額に向けて強い表現を盛り込んだ。

農業・農村整備事業費は、民主党政権下で当初予算が6割以上削減された。自公政権復帰後も元の予算水準には戻らず、都道府県の要望に応え切れていない。

骨太方針の当初案では、農業農村整備に関する直接の記述はなかった。その後、公明党の主張を踏まえ、農業農村整備を進めるとの文言を追加。さらに最終案では「土地改良」と表現が変わった。来夏の参院選をにらみ、全国土地改良事業団体連合会会長に就任した自民党の二階俊博総務会長の意向が働いたとみられる。

別添

経済財政運営と改革の基本方針2015(骨太方針) 経済再生なくして財政健全化なし

「日本再興戦略」改訂2015 未来への投資・生産性革命

まち・ひと・しごと創成基本方針2015 ローカル・アベノミクスの実現に向けてー

公益社団法人 土地改良測量設計技術協会

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館1F

TEL: 03-3436-6800 FAX: 03-3436-4769

ホームページ <http://www.sderd.or.jp> E-mail: sderd@sderd.or.jp
